

臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い

現在、消化器内視鏡科では、本学で保管している診療情報および内視鏡画像を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報や内視鏡画像を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〔研究課題名〕

胃 MALT リンパ腫表層型における拡大内視鏡所見と肉眼形態・病変径との関連に関する後方視的検討

〔研究対象者〕

2013 年 1 月から 2026 年 3 月までの間に、東京女子医科大学病院 消化器内視鏡科で胃 MALT リンパ腫と診断され、内視鏡検査を受けた方のうち、病変が胃に局限した病期（Lugano 分類Ⅰ期）で、内視鏡的に表面に広がるタイプ（佐野分類表層型）と判断された方

〔利用している診療情報等の項目〕

診療情報：診断年月、年齢、性別、ヘリコバクター・ピロリ（H. pylori）感染状態、病変の広がり（Lugano 分類）、胃 MALT リンパ腫の病理診断

内視鏡情報：通常内視鏡画像、NBI（狭帯域光観察）併用拡大内視鏡画像、病変のタイプ（佐野分類）、肉眼形態、最大径、拡大観察でみられる血管や腺管構造の特徴（tree-like appearance、ballooning、nonstructural area）

〔利用の目的〕（遺伝子解析研究：□有 ■無）

胃 MALT リンパ腫のうち表層型の病変について、病変の見た目や大きさと、NBI 併用拡大内視鏡でみられる特徴との関係を調べ、内視鏡診断における NBI 併用拡大内視鏡の有用性と限界を明らかにすることを目的としています。

〔研究実施期間〕

倫理審査委員会承認後、機関の長の許可を受けた日から 2029 年 3 月 31 日までの間（予定）

〔この研究での診療情報等の取扱い〕

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、診療情報や内視鏡画像には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

〔機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者〕

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 消化器内視鏡科 助教 渡辺 舞

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 消化器内視鏡科 渡辺 舞

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）